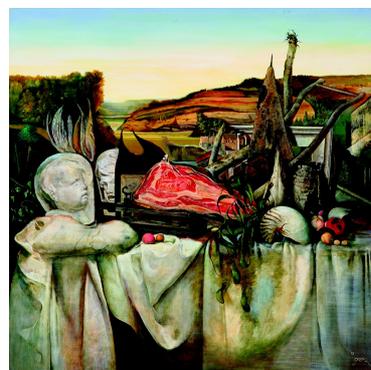


## 羽生 出 展 面と空間の詩学

羽生出は34年にわたって母校東京藝術大学絵画科油画研究室で後進の指導にあたり、国画会展80年会展、個展を主に発表活動を続けてきました。初期の色彩豊かな構成による室内人物の情景や、詩情豊かな静物と風景を構成した魅惑的な具象作品から、いくつかの表現形式を経て、現在の分割による色面と空間の構成へと表現の幅を広げてきました。羽生出の眼は一貫して「自然」に向けられ、その確固とした視点は自然の持つ様々な様相を探究し絵画という場へ引き込んできました。その制作と思考は緩やかな揺らぎの中で、「自然」からの形をテーマとしています。自然と対峙する様は寄せては消える波のように、ダイナミックな流れの一端を作品として昇華し、作品の変容する様は四季のようでもあります。

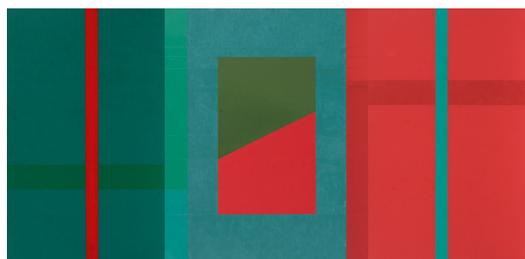
本展は、2007年3月の東京藝術大学美術学部油画研究室教授退任を記念し、油彩・水彩・素描およそ100余点で構成し、羽生絵画の全貌をみてとれる展覧となっています。

会期 2007年1月11日(木)～1月28日(日)  
開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 毎週月曜日  
会場 東京藝術大学大学美術館 3階展示室  
入場料 無料  
主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館  
後援 上野芸友倶楽部  
問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)  
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



《景(肉)》 1973年

\*本展は、2007年6月23日(土)～8月22日(水) 駒ヶ根高原美術館においても開催されます。



《tsui '95》 1995年



《回》 1986年



《男と女》 1968年



《黒潮》 1988年



#### 作家略歴

- 1939年 東京都生まれ  
1967年 東京芸術大学美術学部絵画科油画卒業、'69同大学院修了  
1974年 東京芸術大学美術学部油画助手 '78講師、'81助教授、'99～教授

#### 《主な展覧会と受賞歴》

- 1967年 卒業制作(大橋賞)/国画会展(新人賞)・東京都美術館/国際形象展('68、'73、'74)・東京、三越  
1968年 安井賞候補新人展・東京、国立近代美術館/国画会展(会友推薦)・東京都美術館  
1970年 国画会展(会員推薦)・東京都美術館/枝英会展(～'73)・東京、サエグサ画廊  
1971年 現代日本新人作家展('72)・東京、高島屋/新象展・ギャルリーためなが/新鋭選抜展('72)・東京、三越/  
華旺会展(～'93)・春風洞画廊  
1973年 現代の幻想絵画展・朝日新聞社主催 東京、三越  
1975年 泰山会展(～'78)・泰明画廊  
1976年 O氏賞記念展・東京セントラル美術館  
1977年 美術展『海』・日本橋、平安堂  
1980年 80年会展('93)・東京、サエグサ画廊  
1987年 東京芸術大学創立百周年記念展・東京、西武美術館  
1988年 OPEN THE GATE展・東京芸術大学、陳列館  
1995年 画廊オープン展・銀座、井上画廊  
1996年 二人展(羽生 出、ヴィルジニオ・スパラヴィーニャ)・銀座、井上画廊  
2001年 東京国画会展・東京、高島屋('02、'03、'04、'05)  
2005年 東京芸術大学油画教員展・東京、高島屋('06)  
現在 東京芸術大学教授 国画会会員 日本美術家連盟会員

#### 《個展》

- 1971年 東京 サエグサ画廊('72、'74、'89、'95、'00)  
1975年 名古屋 丸栄画廊  
2003年 銀座 井上画廊

#### 《教育活動》

- 高知大学教育学部('87、'94、'97、'01)、東海大学工学部建築科('93、'94)で講義並びに実技指導。  
東京芸術大学公開講座('97、今日の美術入門/'00、油画「人物と芸大風景」/'03、油画「人物(裸婦)」)  
妙高高原夏の芸術学校('98、富士山写生会)  
上野芸友倶楽部('97、富士山写生会/'98、信州、無言館と写生会/'99、奥日光写生会/'00、奥秩父紅葉写生会  
/'01、上高地写生会/'02、伊東アーツブリンクスクール美術講座 /'05、浅間山写生会)

展覧会・画像お貸出しについてのお問合せは下記までお願い致します。

東京芸術大学大学美術館 企画・管理係

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp